

寒剤利用者の皆様

令和2年4月21日

理学研究院極低温液化センター運営責任者

河本 充司

「液体窒素、液体ヘリウムの供給について」

昨今の状況を踏まえ、新型コロナウイルス感染拡大防止のための北海道大学の行動指針が策定されましたが、液体窒素及び液体ヘリウムの補充は、大学機能を最低限維持するために必要であるとの認識が示されております。

当センターは皆様に寒剤を供給する施設ですので、上記の認識の下、最低限必要とされる寒剤の供給が滞ることがないように対応して参ります。

なお、北海道大学の行動指針における「レベル4」は、大学を閉鎖し、活動の原則停止の事態ですが、この場合についても供給体制を維持し寒剤の供給は継続致します。

現在は行動指針において、制限が大の「レベル3」ですが、利用日時を制限することで逆に利用者密度が高くなるリスクを考慮し、液体窒素供給室は通常どおり平日 8:30~17:00まで開室しております。

これに伴い液体ヘリウムについても平日毎日供給できる体制で運用しております。

皆様におかれましては、窒素供給室での汲み出し時、装置への寒剤充填時などには、「三密」を避けるよう十分に気をつけて利用して頂きたいと存じます。

なお、今後、供給体制の変更等がございましたら、別途お知らせしますのでよろしくお願い致します。

本件についてのお問い合わせ等は、極低温液化センター 内線 3830 までお願い致します。